

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4170500021
法人名	社会福祉法人 鶴丸会
事業所名	グループホーム ユートピア
所在地	伊万里市大川町大川野字赤坂1647 (電話) 0955-20-8008

評価機関名	佐賀県社会福祉協議会
所在地	佐賀市鬼丸町7番18号
訪問調査日	平成20年11月14日
評価確定日	

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	8 人
利用定員数計	9 人
常勤 6人	常勤 2人
常勤換算	7.75人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋造り
------	--------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000円(日額800円)	その他の経費(月額)	15,000円+実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	1日当たり800円		

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	74 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山元記念病院 福田歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>田園風景の広がる自然の中に建物はある。隣り合わせのデイサービスとは行事などの催事には行き来されている。散歩や園内の菜園や花壇づくりなどの趣味活動、毎日の掃除、入居されている皆さんが自分にできることを楽しんでいる。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議と災害対策について取り組んできた。回を重ねるごとに内容も充実しつつある。そのことを日常の中で、また緊急時に適切に対応できるような取り組みが期待される。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>家族会を設けるなど家族同士の集まりの場で意見が出せるような仕組みづくりが期待される。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>幅広い参加者で行われている。内容の更なる充実を期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>個人の意見が出しづらいことにも配慮し、事業所主導ではなく家族が自主的に活動できるような支援(家族会の立ち上げなど)も期待される。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域活動や人々との関りを積極的に持つことが大切で、地域の一員として地元の活動や地域住民との交流に積極的に取り組まれることも期待される。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ありのままに穏かに、ゆったりと楽しく自由に、残された力で暮らしの喜びと自信を理念とし「その人らしさ」を大切にした支援に努めている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の介護の中で管理者とスタッフが意見交換を重ね「自信と喜びを感じてもらおう」生活の支援が行われている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議に区長に出席してもらうことで地区との繋がりができてきている。地区行事にも積極的に参加し、毎日の散歩道も安心して散歩できるようにと地区の車の往来を少なくするなど配慮してもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価は改善の機会とし運営者も巻き込みながら課題に取り組み、介護の質の向上に努めている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では事業所からの報告だけでなく参加メンバーからの質問や要望などを出してもらえるような雰囲気作りに留意しながら、事業所が地域に根付いたものとなるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市のケア会議などで市の担当者や他の事業者の人たちとの情報交換の機会があり、これらを活用し協働関係が築かれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	利用者の暮らしの様子は広報誌や来訪時に個別に伝えている。変化のあった時はその都度連絡している。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	玄関に意見箱を置いている。苦情受付窓口もホーム内に設置されている。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	離職の際は早めに届出る仕組みを作り、利用者への影響をできるだけ少なくするような努力がされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	系列病院、施設等で、毎月の教育プログラムが組まれ職員研修が行われている。研修への参加が促進されるような環境作りに努めている。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	全国認知症グループホーム協会佐賀県支部に加入し、他のグループホームと交流を持つことでサービスの質の向上を目指している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の際は本人や家族に施設を見てもらうことからはじめ、徐々に馴染み安心してサービスを利用できるような支援の工夫を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごし、得意分野で力を発揮してもらい、職員と入居者がお互い様という気持ちで過ごせるような環境づくりに配慮している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、言葉や表情などから利用者の意向や希望を把握するよう心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族、職員と情報交換しながら利用者主体の暮らしを反映した介護計画づくりに努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した計画をその都度作成されている。	○	利用者やその家族、関係者らが話し合う機会を作り、意見や気づきが反映できるような取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診、薬の受け取り、ドライブ、外食、買い物など臨機応変な対応を行い、利用者だけでなく家族への支援にも配慮している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医での受診を優先している。かかりつけ医との情報交換を密に行い適切な医療を受けられよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の重度化に伴い本人や家族が不安にならないよう相談できる体制を作っている。重度化や終末期のあり方について本人や家族からはっきりとした意思確認はしていないが医師などと連携をとり支援している。	○	本人や家族とかかりつけ医や事業所側の考え方や意向がずれたまま重度化や終末の時期を迎えることのないよう、できるだけ早期から話し合いの機会を作り関係者全体の方針の統一が図られる事を期待したい。また事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえた事業所の方針についてチームとしての共有を図っていく取り組みも期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護についてはすべての職員が理解し、秘密保持の徹底が図られている。日ごろの言葉づかいなども利用者の尊厳と権利を尊重した対応の徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	早朝から畑に出て作業したり、掃除をしたり、好きな服に着替えたりとその人らしい生活を見守りながら支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の調達を一緒にしたり、調理盛り付け後片付けを一緒にやり、職員と同じテーブルを囲んで楽しく食事できる雰囲気づくりを大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1度の入浴が基本になっているが汗をかいたりその日の状況で臨機応変にシャワーなどで対応している。希望で連日、又は夜間に入ることも可能である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	読書、カラオケ、除草作業、食後の後片付け、洗濯物干し、雑巾がけなど、一人ひとりにあった役割や楽しみがあり、そうした場面を通じて本人らしい暮らしの活力を引き出す支援に努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候や本人の希望などに応じて散歩や買い物、外食など戸外に出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠することはなく、昼間は開放している。帰宅願望の強い入居者には見守りや声かけ、寄り添う支援を行っている。安全を配慮し自由な暮らしを支えるようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月全体会議のときに訓練や口頭での指導が行われている。区長を通じて地域の人々の協力が得られるよう働きかけている。	○	事業所だけの訓練ではなく、地区住民の参加や協力を得ながら避難訓練の計画の取り組み、マニュアルづくりを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記載し職員が大まかに把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には季節の花を置いたり、みんなで作った作品を置き、音や光に配慮した環境づくりを工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら安全、安心を配慮した環境づくりを心がけている。		